

医療安全教育セミナー 2012 年度 冬期(医療安全管理研修会) 医療安全のための リスクマネジメントの実習編

日時●2月6日(水)～8日(金)

会場●東京大学伊藤国際学術研究センター
地下2階(東京都文京区)

プログラム●講義「医療ミスの予防対策としてのヒューマンファクターの考え方——全体ガイダンス」／演習ガイダンス講義「RCA(根本原因分析法)のガイダンス」東大医科学研究所附属病院医療安全管理責任者／「FMEA(設計故障モード影響解析法)のガイダンス」東大病院の医薬品安全管理当事者／「KYT(危険予知訓練法)のガイダンス」／特別講義「医療安全のためのVTA(バリエーションツリー分析)の適用」／「FMEA(設計故障モード影響解析)およびKYT(危険予知訓練)の演習」(実習ファシリテーター)東京大学、東京医科歯科大学、福島県立医科大学、菊名記念病院、国際親善総合病院、田園調布病院、太田総合病院、久里浜クリニック／「設計故障モード影響解析(FMEA)演習」東大病院医薬品安全管理当事者／「危険予知訓練(KYT)演習」／「RCA(根本原因分析)の演習」(実習ファシリテーター)東京大学、東京医科歯科大学、福島県立医科大学、菊名記念病院、国際親善総合病院、田園調布病院、太田総合病院、久里浜クリニック／「根本原因分析(RCA)演習Ⅰ 例題演習」東大病院の医薬品安全管理当事者／「根本原因分析(RCA)演習Ⅱ 課題演習」東大医科学研究所附属病院医療安全管理責任者

対象者●医療施設経営者、専任医療安全管理者、専従医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他の医療従事者

定員●350名

参加料(資料代を含む)●会員2万3000円、医療施設の従事者、薬局従業員3万円、その他4万円

申し込み●学会ホームページ登録フォームより、あるいはFAX、郵送にて

申込締切●1月29日(火)

問い合わせ●国際医療リスクマネジメント学会

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

TEL/FAX 03-3817-6770

E-mail head.office01@iarmm.org

URL <http://www.iarmm.org/J/>

PatSafe2012Winter/

聖路加看護大学 看護実践開発研究センター 2013 年度認定看護師教育課程 研修生募集[2次募集]

期間●6月1日～2014年2月28日(9か月間)

※金・土曜日を中心に開講。共通科目および実習は月～土曜日

募集コース●不妊症看護コース、がん化学療法看護コース、訪問看護コース

学費●入学金10万円、授業料80万円※実習費含む

出願期間●1月28日(月)～2月8日(金)消印有効

検定料●5万円(郵便局「普通為替証書」)

試験日●3月2日(土)筆記試験9:00～10:30、面接試験13:00～

合格発表●3月8日(金)14:00

募集要項および願書類

(<http://rcdnp.slc.ac.jp/nintei/>)よりダウンロード

問い合わせ●聖路加看護大学看護実践開発研究センター認定看護師教育課程事務係

〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5

TEL 03-6226-6388(直)

E-mail rcdnp-cen@slc.ac.jp

第11回日本フットケア学会 第5回日本下肢救済・足病学会 合同学術集会

日時●2月9日(土)・10日(日)

会場●パシフィコ横浜(横浜市)

テーマ●今こそ総力を結集しよう!

プログラム●「日本で始動! 下肢救済プロジェクト」「どんなチームで誰にフットケアを提供しますか?」「血行再建手術の絶対的適応とは何か」「高齢者とフットケア」「次世代に向けた産官学の挑戦——フットケアの在宅医療をどうするか?」「足病患者の診察実態私たちは何をすべきか?」「足病変治療コンセンサスの世界標準を目指して」「本邦の特徴からみた重症虚血肢に対する血管内治療戦略」「フットケアとリスクマネジメント」ほか
参加費●医師1万2000円、医師以外1万円
問い合わせ●コンベックス内連絡事務局

〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-22 一

乗寺ビル

TEL 03-3583-6677

FAX 03-3589-3974

E-mail foot2013@convex.co.jp

URL <http://foot2013.umin.jp/>

日本訪問看護振興財団研修

■精神障害者の在宅看護セミナー

日時●2月9日(土)～11日(月・祝)、16日(土)・17日(日)

会場●(2月9～11日)東京工科大学(東京都大田区)

(2月16・17日)JNAホール(東京都渋谷区)

プログラム●

〈2月9日〉①「精神保健の現状と動向」厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課担当官／「精神科訪問看護基本療養費について」佐藤美穂子(当財団理事)／⑥「精神訪問看護の基礎」萱間真美(聖路加看護大学看護学部看護学科精神看護学研究室教授)

〈2月10日〉③「精神障害者の訪問看護の動向・最新知識と制度活用」仲野栄(日本精神科看護技術協会専務理事)／④「訪問看護におけるメンタルヘルスケア」野末聖香(慶應義塾大学看護医療学部健康マネジメント科教授)

〈2月11日〉⑤「精神障害者の各種療法」野中猛(日本福祉大学研究フェロー)／②「精神障害者の病態／精神障害者の薬物療法と最新治療法」西尾雅明(東北福祉大学総合福祉学部教授)

〈2月16日〉⑨「精神障害者の家族及び介護者等への支援」田上美千佳(東京都医学総合研究所精神行動医学分野 心の健康プロジェクト主任研究員)／⑧「精神訪問看護の実践(1)」寺田悦子(多摩在宅支援センター円理事長)

〈2月17日〉⑦「精神障害者への集団療法と精神科リハビリテーション」福山敦子(ACT-Kねこのて訪問看護ステーション訪問看護師)／⑩「精神訪問看護の実践(2)」金井竹子(ケアポートカナイ訪問看護ステーション理事長)
※①～⑩の講義すべてを受講により「精神訪問看護基本療養費の届出要件」を満たす。

対象者●精神科訪問看護に従事する者
受講料●会員5日間3万円、1日のみ各7000円、非会員5日間6万円、1日のみ各1万7000円
問い合わせ(共通)●日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5F
TEL 03-5778-7005
FAX 03-5778-7009

地域医療振興協会 地域医療安全推進センター研修

医療安全管理者養成研修Ⅲ

日時●2月14日(木)～16日, 3月14日(木)～16日, 計6日間(40時間)

プログラム●1. 医療安全施策の動向/2. 医療安全の基礎知識と医療安全管理者の業務/3. 安全管理体制の構築と安全文化の醸成/4. 医療安全管理者の取り組みの実例, 5. 自施設における医療安全の課題/6. ADR(裁判外紛争解決), メディエーション/7. 苦情・クレーム対応のポイント, 他

定員●40名

申込締切●1月30日(水)

受講料●5万円

【共通】

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

講師●石川雅彦, 齊藤奈緒美, 一部外部講師
問い合わせ●地域医療振興協会 地域医療安全推進センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3
都道府県会館 15F

TEL 03-5212-9152

FAX 03-5211-0515

URL <http://www.jadecom.or.jp/iryou-anzen/guide/index.php>

第47回糖尿病学の進歩

日時●2月15日(金)・16日(土)

会場●四日市市文化会館・四日市市都ホテル・四日市シティホテル・四日市商工会議所(三重県四日市市)

プログラム●【コ・メディカル】療養指導に必要な知識「CDEの現状と課題」「地域CDE」「クリニカルパス」「高血糖昏睡の治療」「低血糖対策」「シックデイ時の対応」「カーボカウント」/シンポジウムS1(療養指導外来に期待する!!)「外来指導の充実①」「外来指導の充実②」「外来チーム医療の実践と課題」「外来指導の充実に向けて」

参加費●医師・コメディカル1万円, 学生, 大学院生・初期研修医は無料。ホームページの初期研修医証明書, 学生登録用紙に記入し持参する

申し込み●ホームページの登録フォームより

E-mail shinpo47@ccs-net.co.jp

URL <http://www.47shinpo.com/>

第30回日本ストーマ・ 排泄リハビリテーション学会総会

日時●2月15日(金)・16日(土)

会場●名古屋国際会議場(名古屋市)

テーマ●ストーマ・排泄ケアの到達点と未来予測

プログラム●特別講演「がんと人生」垣添忠生(日本対がん協会会長)/シンポジウム1「ストーマ・排泄リハビリテーション30年の変遷と将来予測」/2「ストーマ手術と合併症管理」/3「ストーマ保有者への緩和ケア支援」/ワークショップ1「ストーマ保有者への在宅療養支援」/2市民公開講座「語りつぐ広域災害時の排泄課題への取り組み」/教育セミナー「排泄障害とその対処:理論と実践」西村かおる, 後藤百万, 神山剛一, 谷口珠実ほか

参加費●会員1万円, 非会員1万1000円

問い合わせ●コンベックス内事務局

〒106-0041 東京都港区麻布台 2-3-22 一乗寺ビル

TEL 03-3589-3363

FAX 03-3589-3974

E-mail jsscr30@convex.co.jp

URL <http://jsscr30.umin.jp/>

法政大学大学院 職業能力開発研究所 医療介護人材・組織の育成講座

■看護師長・主任の現場で使える人事管理基礎講座

日時●2月15日(金)・16日(土)

プログラム●人事管理の目的/人事管理に必要な組織のシステム(人事管理の全体像)/募集と採用のポイント/配置と人事異動の基本/職員の格付け(資格制度)/人事考課制度/他

講師●下田静香

参加費●会員2万1000円, 一般2万3100円

■看護管理者のための職場活性コーチング講座

日時●3月9日(土)

プログラム●コーチングの必要性について/質問の技法/実践/質問力の向上/コーチングの基礎「アクティブラーニング」/他

講師●疋田幸子

参加費●会員1万500円, 一般1万2600円

(以下共通)

会場●法政大学経営大学院新一口坂校舎(東京都千代田区)

申し込み●下記ホームページよりダウンロードした専用申込用紙をFAX

問い合わせ●運営事務局(フロインド)

TEL 03-6431-8225

FAX 03-6431-8226

E-mail info@freund.jp

URL <http://www.frend.jp/>

第27回日本がん看護学会

日時●2月16日(土)・17日(日)

会場●石川県立音楽堂(金沢市), 他

テーマ●未来と希望を拓く温もりのあるがん看護

プログラム●会長講演「未来と希望を拓く温もりのあるがん看護」小藤幹恵(金沢大学附属病院副院長・看護部長)/特別講演1「米国と日本におけるがん看護の未来(仮題)」Nessa Coyle(メモリアル・スローン・ケタリング・がんセンター疼痛緩和ケアサービス, NP, PhD)/2「よく生きよく笑いよく死と出会う」Alfons Deeken(上智大学名誉教授)/シンポジウム「治療期の患者・家族の輝きを引き出すがん看護」嘉山孝正(山形大学学長特別補佐)・清水奈緒美(神奈川県立がんセンター, がん看護専門看護師)・桜井なおみ(NPO法人HOPEプロジェクト理事長)・大沢かおり(東京共済病院がん相談支援センター, MSW)/パネルディスカッション「今を生きるために拓く」二見典子(ライフプランニングセンターピースハウス病院看護部長)・濱口恵子(がん研究会有明病院副看護部長, がん看護専門看護師)・梅田尚季(金沢先進医学センター個別化医療センター, 医師)/青木和恵(静岡県立静岡がんセンター副院長, 皮膚・排泄ケア認定看護師)/教育講演「問われるがん看護実践 知と技をつなぐ力」田村恵子(淀川キリスト教病院, がん看護専門看護師)/「富山型デイサービス 命をつなぐ住み慣れた地域でともに生きるということ」惣万佳代子(NPO法人このゆびと一まれ理事長)/「がん患者の意思決定を支える 情報の共有から合意へ」石垣靖子(北海道医療大学客員教授)/「命ありて…」大廻政成(丸岡町文化振興事業団事務局長)/「放射線治療チームの中の看護師の役割」橋口周子(兵庫県立がんセンター, がん看護専門看護師)「がん性疼痛治療とがん哲学外来」山田圭輔(金

沢大学附属病院麻酔科蘇生科講師)／「音楽を通して今を生きる、そして時空を超えて生きる意味とは 音楽を通して出会った人たちから教わったこと」新倉晶子(日本赤十字社医療センター、音楽療法士)／「新たながん対策推進基本計画の考え方(仮)」岡田就将(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課・がん対策推進官)／他

参加費●会員 1 万円、非会員 1 万 1000 円
学生 3000 円、懇親会 5000 円
申し込み●ホームページの登録フォームより
問い合わせ●日本旅行 西日本 MICE 営業部
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル 12F
TEL 06-6342-0212
FAX 06-6342-0214
E-mail jscn_27@nta.co.jp
URL <http://jscn27.umin.jp/>

第 23 回日本アルコール看護研究会関西大会

日時●2 月 22 日(金)・23 日(土)
会場●大阪国際会議場(グランキューブ大阪)(大阪市北区)
テーマ●依存症看護は本人・家族同時進行や——ほんまは私が一番しんどいねん
プログラム●ワークショップ「動機づけ面接法」後藤恵(成増厚生病院診療部長)／「精神科認定看護師(薬物・アルコール依存症領域)によるシンポジウム」戸田俊行・野口洋一・長田孝士／特別講演「家族との関わり」藤田修美(精神保健福祉社)／ランチョンセミナー「アルコール依存症の不眠」佐谷誠司(新阿武山病院医師)／事例検討(7 議題)／ポスターセッション「研究のフリーマーケット」／全国の精神科認定看護師分科会
参加費●一般 6000 円、学生(学生証提示) 1000 円、ワークショップ 2000 円(学生参加不可)、懇親会 7000 円
申し込み●ホームページの登録フォームより
問い合わせ●日本旅行 西日本 MICE 営業部(担当: 浦田・吉田)
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル 5F
TEL 06-6342-0230
FAX 06-6342-0232
E-mail ec_gakkai@nta.co.jp
URL <http://jalnsrs.com/osirase.html>

医療事故・紛争対応研究会 第 7 回年次カンファレンス

日時●2 月 23 日(土)
会場●パシフィコ横浜会議センター 1 階(横浜市西区)
プログラム●講演「亡くなりつつある人への医的介入のあり方」1「治療・栄養補給の差し控え・中止の判断 日本老年医学会の取り組みと現場対応」飯島節(筑波大学大学院教授)／2「治療・栄養・水分等の差し控え・中止の許容性と、母の看取りを通してみた現実」丸山英二(神戸大学大学院教授)／3「哲学者からみた看取り」加藤尚武(京都大学名誉教授)／基調講演「医療事故と管理監督責任」井田良(慶應義塾大学常任理事)／シンポジウム「医療安全と医師・看護師の人事管理」佐治文隆(市立芦屋病院事業管理者)・秋山智弥(京都大学医学部付属病院看護部長)
対象●医師・看護師・薬剤師・医療技術者・事務職員・医療安全管理者など
定員●750 人(先着順)
参加費●(～2 月 8 日)会員 4000 円、非会員 5000 円

(2 月 9 日～)会員 6000 円、非会員 7000 円
(事前申込のうち参加費未納者を含む)
申し込み●FAX またはホームページより。
問い合わせ●事務局
FAX 0120-286-575
E-mail infosmcm-group@umin.ac.jp(問い合わせ専用)
URL <http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html>

第 4 回臨床看護マネジメント学会 学術研究会

日時●2 月 24 日(日)
会場●東京都看護協会大教室(東京都新宿区)
テーマ●臨床看護マネジメントに必要なツールの開発と活用
プログラム●〈課題 I マネジメント・スキル・メソッドの開発と活用〉基調講演「マネジメントスキルを高める手法としての M-S-T メソッドについて」高田誠(朝日サステナブルビジネス KK)／ワークショップ「目標横断的、目標個別的に、組織の『変化を作り出す』ためのマネジメント力」1.“リーダーシップ・マインド”の分析と課題」佐久間あゆみ(一宮西病院看護部長)、「2.“目標管理分析シート”

の活用から視えてきたこと」菅谷周子(つくばセントラル病院看護部長)、「3. 組織目標と戦略の落とし込み」藤田あゆみ(取手北相馬保健医療センター医師会病院看護部長)／〈課題 II 看護必要度の監査体制・監査方法〉基調講演「看護必要度に必須とされる精度管理と監査に必要な記録とは」田中彰子(山梨県立大学看護学部教授)／ワークショップ「1. 看護必要度の監査体制はどうあればよいか」松岡さおり(小倉記念病院看護部担当部長)、「2. 看護必要度の監査プロセスの重要性」高木日登美(市立札幌病院看護担当課)、「3. 看護必要度評価の担保としての記録」貝塚久美子(筑波メディカルセンター病院看護師長)
参加費●(事前登録～2 月 10 日)会員 3000 円、非会員 4000 円
(当日)会員 4000 円、非会員 5000 円
問い合わせ●事務局
TEL/FAX 03-3803-0710
E-mail jsnam09@yahoo.co.jp
URL <http://www.jsnam.com/>

第 3 回日本看護評価学会学術集会

日時●2 月 27 日(水)・28 日(木)
会場●東京大学医学部教育研究棟(東京都文京区)
プログラム●講演「費用対効果分析の看護への適用」福田敬(国立保健医療科学院主任研究官)／講演「臨床における EBP 実行の重要性と評価」松岡千代(佛教大学教授)／シンポジウム「看護における費用対効果分析の必要性と研究例」菅田勝也(東京大学大学院教授)／「大学卒業時の学士力を活かす新人看護師研修を考える」佐藤紀子(東京女子医科大学教授)
参加費●会員 7000 円、非会員 1 万 2000 円
学生 3000 円、懇親会 2000 円
問い合わせ●学術集会事務局(東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野内)
FAX 03-5841-1449
E-mail jane-soc@umin.ac.jp
URL <http://jane.umin.jp/>

日本医療マネジメント学会 第 13 回東京支部学術集会

日時●3 月 2 日(土)
会場●東医健保会館(東京都新宿区)
テーマ●診療の質向上——取り組みとその検証

プログラム●学会長講演・尾形逸郎／基調講演・福井次矢（聖路加国際病院院長）／シンポジウム／一般口演／ポスター発表／ランチョンセミナー

参加費●（事前）会員 2500 円、非会員 3500 円（当日）会員 3000 円、非会員 4000 円

申し込み●ホームページの登録フォームより問い合わせ●河北医療財団（担当：滝沢良明〔総務部長〕）

〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北 1-7-3

TEL 03-3339-2121

FAX 03-3339-2986

E-mail mmgakkai13@kawakita.or.jp

URL <http://jhmtokyo.umin.jp/2013/>

看護経済・政策研究学会 （平成 24 年度研究会）

日時●3 月 2 日（土）

会場●東京有明医療大学（東京都江東区）

問い合わせ●東京有明医療大学看護学部金

井 Pak 雅子研究室

TEL 03-6703-8083

FAX 03-6703-7100

E-mail p-kanai@tau.ac.jp

URL <http://jsnep.umin.jp>

第 17 回日本在宅ケア学会 学術集会

日時●3 月 9 日（土）～ 10 日（日）

会場●茨城県立県民文化センター（水戸市）

メインテーマ●生きる力を高める在宅ケア

プログラム●特別講演「おひとりさま時代のケア社会（仮）」上野千鶴子（東京大学名誉教授／立命館大学大学院先端総合学術研究科特別招聘教授）／フォーラム「高齢者虐待の今；法改正を受けて」／2012 年度日本在宅ケア学会公開講座／教育講演「消費増税下の社会保障と介護」結城康博（淑徳大学）／シンポジウム「生きる力を高める在宅ケアの課題」

参加費●会員 8000 円、非会員 9000 円、茨城県との共済にかかわる参加者（県内従事者・実践者）2000 円、学生 4000 円

問い合わせ●事務局

〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部公衆衛生学研究室

TEL/FAX 029-228-8323

URL <http://jahhc.com/>

文化看護学会第 5 回学術集会

日時●3 月 17 日（日）

会場●千葉大学看護学部（千葉大学亥鼻キャンパス内）講義・実習室（千葉市中央区）

メインテーマ●応答する身体

プログラム●鼎談「応答する身体」——「おむつなし育児からみえてくるもの」三砂ちづる（津田塾大学国際関係学科教授）・「賢い[からだ]」瀧澤文雄（千葉大学教養学部教授）・「私の身体が応答していないと思うことの不安」高橋久一郎（千葉大学人文社会科学部研究科教授）／分科会「身体が共鳴する——長期的にあるいは瞬時に」長瀬明日香（よこやま内科クリニック看護師長）／教育ワークショップ「ゆる体操をやってみよう」三砂ちづる・「[からだ]に気づく」瀧澤文雄・「あんまマッサージを通した身体活用」錢淑君（千葉大学大学院看護学研究科准教授）※ワークショップ参加希望者は動きやすい服装で

参加費●会員 4000 円、非会員 5000 円、大学院生を含む学生 1000 円、懇親会 2000 円、弁当代 1000 円（事前申込のみ注文可）

申し込み●下記 E-mail アドレスに氏名、所属、住所、電話番号、メールアドレス、会員・非会員・学生会員・学生非会員の別、弁当希望の有無、懇親会参加希望の有無を 3 月 8 日（金）17：00 までに送信

申し込み・問い合わせ●事務局

E-mail bunkakango5@yahoo.co.jp

URL <http://scns.kenkyuukai.jp/information/>

STROKE 2013

第 38 回日本脳卒中学会総会

第 42 回日本脳卒中の外科学会

第 29 回スパズム・シンポジウム

日時●3 月 21 日（木）～ 23 日（土）

会場●グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）

テーマ●進化する脳卒中治療——多分野との crosstalk

問い合わせ●運営事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル 6F コングレ

TEL 03-5216-5318

FAX 03-5216-5552

E-mail stroke2013@congre.co.jp

URL <http://www.stroke2013.com/>

実践！ 認知症ケア研修会 2013

日時●3 月 23 日（土）

会場●横浜市・ウィリング横浜

定員●150 人

プログラム●「認知症の方の食事場面の工夫——ポジショニング、スプーン、介助方法など」／「BPSD の発生を認知症の『疾患』と『人』の両面から正しく理解する——どうして BPSD は起こるのか？」／「食事・排泄・入浴場面における BPSD の理解と対応——『疾患』に焦点を当てたアプローチ」／「帰宅願望・異食・暴言・暴力・徘徊などの BPSD の理解と対応——『人（心）』に焦点を当てたアプローチ」／「認知症の方主体のケアプラン作成のための視点」／「認知症の方の中核症状・高次脳機能障がいに対するケア 1」他

講師：佐藤良枝（曽我病院）・渡辺哲弘（介護ホッとステーション・クローバー）・井戸和宏（IDO さがみ福祉相談事務所）・妹尾弘幸（日本通所ケア研究会）

問い合わせ●日本通所ケア研究会事務局

〒721-0902 広島県福山市春日町浦上 1205 QOL サービス内

TEL 084-971-6686

FAX 084-948-0641

URL <http://www.tsuusho.com/ninchisyokea/>

固定チームナースング研究会 2013 年研究集会日程

■全国集会

10 月 6 日（日）

■地方会

長野 5 月 26 日（日）

島根 6 月 15 日（土）

近畿 7 月 6 日（土）～ 7 日（日）

中四国 7 月 13 日（土）

鳥取 7 月 20 日（土）

北海道 7 月 27 日（土）

北陸 8 月 4 日（日）

奈良セミナー 11 月 3 日（日）

長崎 11 月 23 日（土）

中部 11 月 30 日（土）

問い合わせ●事務局

〒654-0162 神戸市須磨区神の谷 5-10-48

MOTOCOM 看護組織開発研究所

TEL 078-791-4744

FAX 078-791-4054

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~koteti/index2.html>

訂正とお詫び
本誌 23 巻 2 号 P128「学 会・研 究 会
に行こう!」左段下から 2 行目, P152
Information 右段上から 3 行目に名前の誤
りがありました下記のとおり訂正し, お
詫びいたします。
誤: 藤田あゆみ 正: 藤田あけみ

本誌 22 巻 12 号「医師はほんとうに不足
しているのか?」の記事中, P1057 の写真
は, 日本医学ジャーナリスト協会提供の
ものです。